



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8007 URL <http://www.tak.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 平川 知志 TEL 03-3567-0755
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,684	14.4	311	116.1	342	122.4	195	156.6
24年3月期第1四半期	17,211	0.4	144	62.2	153	98.8	76	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 8百万円 (△92.1%) 24年3月期第1四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.31	—
24年3月期第1四半期	1.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	34,974	8,500	24.3	187.87
24年3月期	35,794	8,620	24.1	190.51

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 8,500百万円 24年3月期 8,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	7.5	550	3.4	500	5.5	300	33.8	6.63
通期	82,000	2.9	1,400	7.8	1,450	3.4	800	6.6	17.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	45,645,733株	24年3月期	45,645,733株
25年3月期1Q	400,077株	24年3月期	396,677株
25年3月期1Q	45,247,418株	24年3月期1Q	45,259,782株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日)におけるわが国の経済環境は、欧州金融不安などの影響により輸出が伸び悩むなどのマイナス要因もありますが、国内の需要は堅調に推移し、電力供給不足懸念から省エネ関連産業も引き続き堅調に推移しております。また、東日本大震災の復旧も、徐々にではありますが進捗しており、当社事業と関連性の高い建設関連分野も堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社は太陽エネルギー関連分野、省エネ関連・震災復旧関連の分野の売上が増加しました。その他の分野も車輻部材分野を除いて堅調に推移し、全体で売上が増加となりました。

このような結果、当社グループの当期における売上高は19,684百万円(前年同四半期比14.4%増)、営業利益は311百万円(同116.1%増)、経常利益は342百万円(同122.4%増)、四半期純利益は195百万円(同156.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

昨年は震災後のサプライチェーン混乱により、建設資材、断熱材分野などが影響を受けましたが、今年はそうした影響がないため、対前年比では売上増となりました。

建材事業売上の4割以上を占める太陽エネルギー関連分野では、住宅用需要が継続的に拡大しました。その他の分野も堅調に推移したことにより、セグメント全体の売上は増加し、セグメント利益も大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は13,043百万円(同21.0%増)、セグメント利益は148百万円(同616.3%増)となりました。

②産業資材

前期に引き続き省エネ関連、震災復旧関連の需要増がありましたが、車輻製造の端境期となったため車輻部材分野では売上が減少しました。その他の分野は堅調に推移したことにより、セグメント全体の売上は増加し、セグメント利益も増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は6,602百万円(同3.6%増)、セグメント利益は152百万円(同50.1%増)となりました。

③賃貸不動産

名古屋地区の不動産を売却したことにより、当該不動産からの賃貸収入が減少したため、売上が減少し、セグメント利益も減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は39百万円(同29.8%減)、セグメント利益は11百万円(同49.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末は、流動資産は27,472百万円(前連結会計年度末比1.3%減)となりました。主な要因は、太陽光パネルの調達等により商品が624百万円増加し、一方で回収が進んだこと等により受取手形及び売掛金が2,379百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は7,502百万円(同5.7%減)となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルの売却により有形固定資産が251百万円、時価下落等により投資有価証券が275百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は22,698百万円(同2.7%減)となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が269百万円、未払法人税等が納税等により349百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は3,776百万円(同2.1%減)となりました。主な要因は、償還により社債が50百万円、返済により長期借入金35百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は8,500百万円(同1.4%減)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上で利益剰余金が195百万円増加し、一方で、時価下落によりその他有価証券評価差額金が168百万円、配当金の支払により利益剰余金が135百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,332百万円となり前連結会計年度末と比べ1,211百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動における資金の増加は、1,098百万円（前年同四半期は633百万円の増加）となりました。主な要因は、回収が進んだことによる売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動における資金の増加は、179百万円（同48百万円の減少）となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルを売却したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動における資金の減少は、75百万円（同91百万円の減少）となりました。主な要因は、社債の償還、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日の「平成24年3月期決算短信」にて公表いたしました、平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益へ与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,120	4,332
受取手形及び売掛金	20,965	18,586
商品	2,022	2,646
未成工事支出金	495	446
その他	1,319	1,543
貸倒引当金	△85	△83
流動資産合計	27,838	27,472
固定資産		
有形固定資産	3,537	3,285
無形固定資産	186	177
投資その他の資産		
投資有価証券	2,699	2,428
その他	1,571	1,643
貸倒引当金	△39	△32
投資その他の資産合計	4,232	4,039
固定資産合計	7,955	7,502
資産合計	35,794	34,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,365	19,095
短期借入金	2,198	2,307
未払法人税等	389	39
賞与引当金	362	147
その他	1,000	1,107
流動負債合計	23,317	22,698
固定負債		
社債	250	200
長期借入金	1,255	1,220
退職給付引当金	514	493
その他	1,837	1,862
固定負債合計	3,856	3,776
負債合計	27,173	26,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	2,170	2,237
自己株式	△74	△75
株主資本合計	7,722	7,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	78
土地再評価差額金	806	798
為替換算調整勘定	△155	△164
その他の包括利益累計額合計	897	711
純資産合計	8,620	8,500
負債純資産合計	35,794	34,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	17,211	19,684
売上原価	15,664	17,896
売上総利益	1,546	1,788
販売費及び一般管理費	1,402	1,477
営業利益	144	311
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	38	41
持分法による投資利益	0	4
貸倒引当金戻入額	—	8
その他	17	32
営業外収益合計	68	98
営業外費用		
支払利息	22	22
手形売却損	8	7
為替差損	26	34
その他	1	3
営業外費用合計	59	68
経常利益	153	342
特別利益		
償却債権取立益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5	12
関係会社清算損	8	—
特別損失合計	13	12
税金等調整前四半期純利益	144	329
法人税、住民税及び事業税	29	26
法人税等調整額	39	107
法人税等合計	68	134
少数株主損益調整前四半期純利益	76	195
少数株主利益	—	—
四半期純利益	76	195

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△168
土地再評価差額金	—	△7
為替換算調整勘定	△9	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△0
その他の包括利益合計	35	△186
四半期包括利益	111	8
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	8
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	144	329
減価償却費	37	43
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△74	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△139	△214
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19	△20
受取利息及び受取配当金	△50	△53
支払利息	22	22
投資有価証券評価損益 (△は益)	5	12
関係会社清算損益 (△は益)	8	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,559	2,376
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△405	△567
仕入債務の増減額 (△は減少)	△339	△286
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15	△101
その他	7	△96
小計	740	1,434
利息及び配当金の受取額	47	51
利息の支払額	△22	△21
法人税等の支払額	△131	△366
営業活動によるキャッシュ・フロー	633	1,098
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61	△24
有形固定資産の売却による収入	0	209
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	4	4
その他	11	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	56	104
長期借入金の返済による支出	△35	△35
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△59	△90
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91	△75
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	491	1,211
現金及び現金同等物の期首残高	2,940	3,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,432	4,332

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	10,780	6,374	55	17,211	—	17,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	10,780	6,374	57	17,213	△2	17,211
セグメント利益	20	101	22	144	—	144

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	13,043	6,602	39	19,684	—	19,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	13,043	6,602	41	19,687	△2	19,684
セグメント利益	148	152	11	311	—	311

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。